

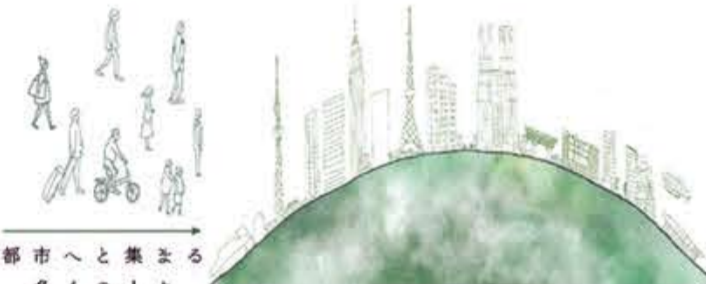
都市へと根をはる私のすみか

都市に暮らす事 それは**新たな自分を持つという事** 多くの人と関わる機会がある都市では 私と誰かの**かかわり合いの中で様々な物語が生まれる**
 都市にすみ **かかわり合いの中で成長していく** 新しい自分が始まる **私が私自身で私を決める快樂** それは誰のものでもない私だけのもの
 都市は私に機会を与え 私は都市で自分の在り方を探していく **私の快樂が都市へと根をはる。**



01. 新たな環境を求めて集まる人々が作り出す都市

都市には生まれ故郷を離れ 新たな生活環境を求めて 多様な背景を持つ人々が集まる。新たな自己形成の場となる都市では多くの人と関わる事によって**自分の新たな可能性を引き出す事**が出来る。その中で私たちは過去の自分を顧みながら都市に暮らす自分をさかすように暮らしている。



私を構成する「これまで」と「これから」
 二つの自分を都市の中で感じ成長する快樂

都市に暮らしてはじめて私は自分自身で身の回りの事を決定していく。その中で見つける**日常に潜む様々な出来事**、都市に暮らす事でそれらが見え始め、私の**アナザーパート**が現れ始める、それは成長であり私の快樂になる。



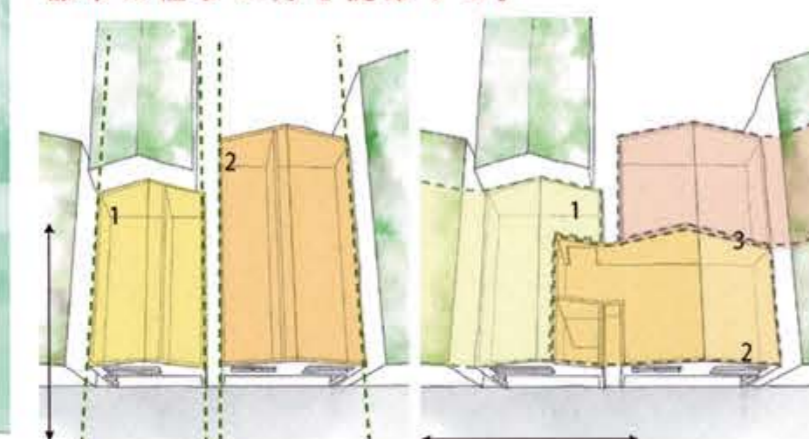
03. 商業形態『商店街』→居住形態『住居街』



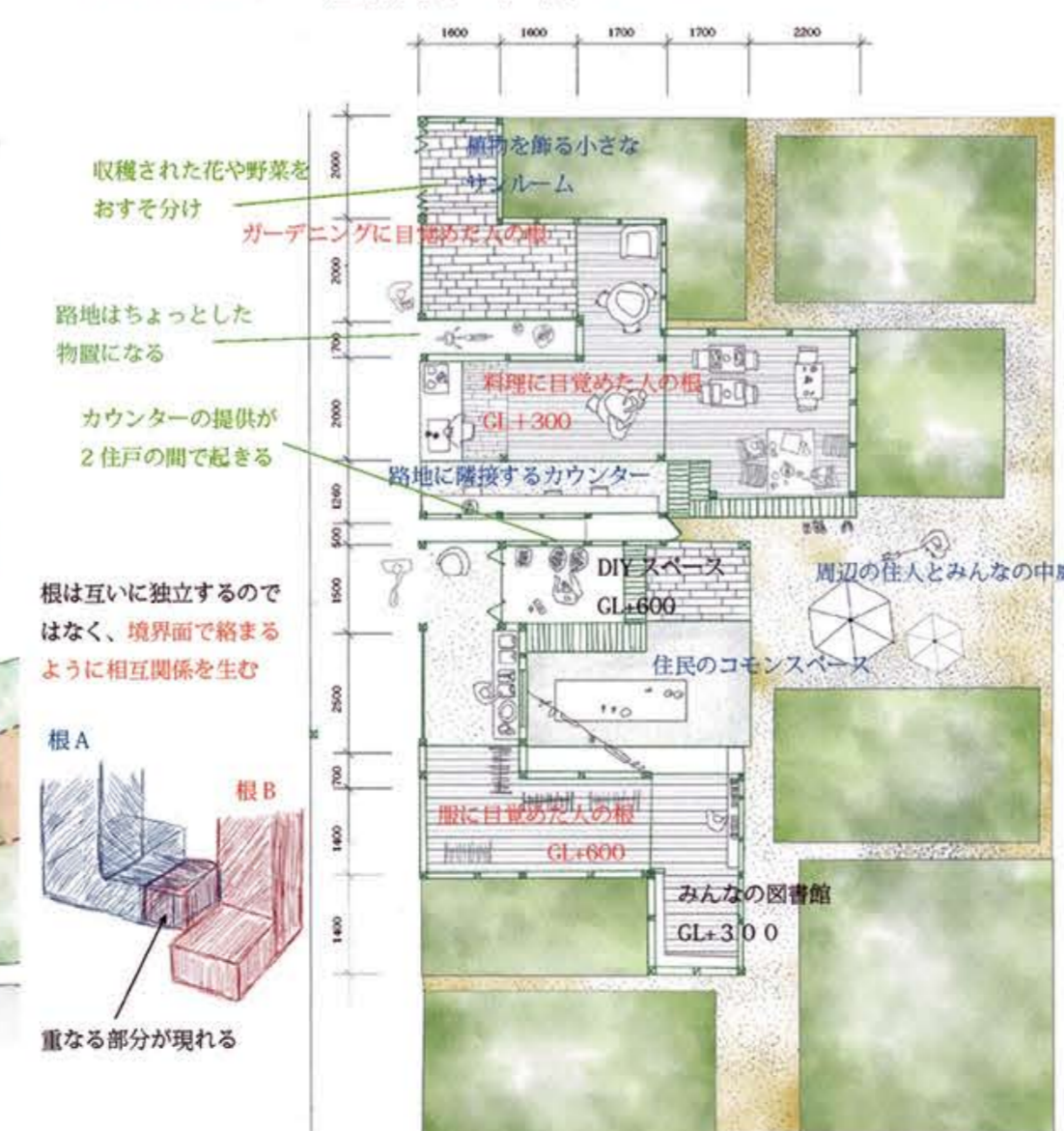
多くの商店街は歩行者が減少し消滅傾向にある



20世紀になり各地に多くの近隣型商店街が配され商店街は街の生活の中心になってきた。しかし現在、生活行動圏の変化や生活スタイルの変化によって商店街という商業形態の多くは衰退してしまい、街の中心は閑散としている。また、生活行動圏の拡張に伴い都市圏は拡大し、都市の住宅需要は増加傾向にある。そこで**商業形態としての商店街を居住形態としての住居街へと変化させ街の中心に新たな都市の住まい方を提案する。**



Phase-3: 住居街: 平面プラン



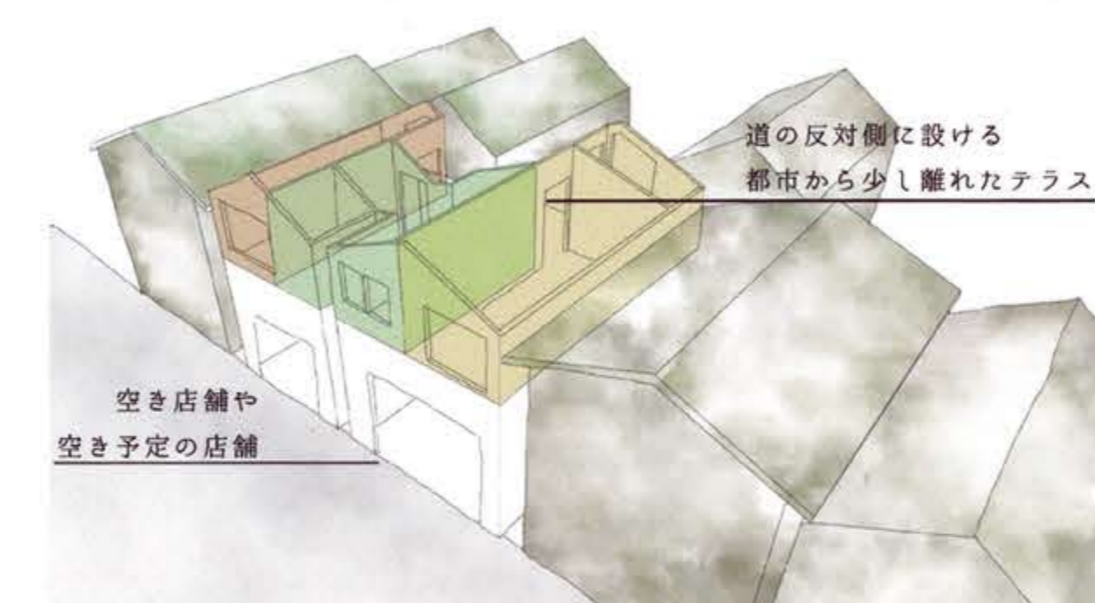
根A
 根B

04. 商店街へと根をはる私のすみか

Phase-1: 都市に腰をおろす場を。



都市の喧騒から離れ、手に入れた私と隣人のためのテラスは、新たな環境の中で採られ、疲れ切った私を癒す特別な空間になる。

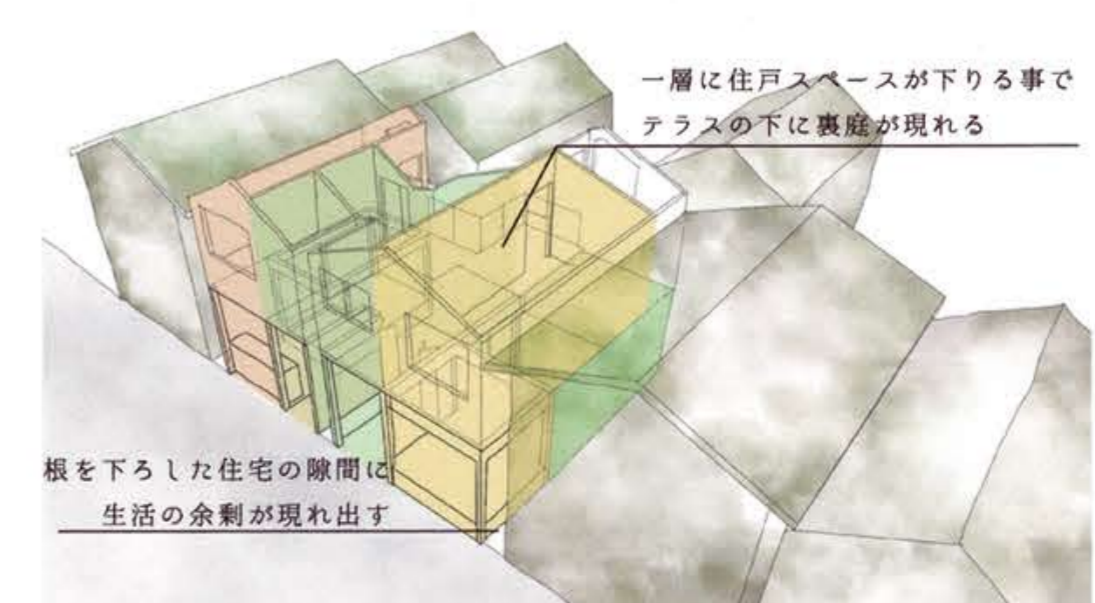


建物を横断するように店舗上部の居住スペースを計画する。大通りと反対側にプライベートなテラスを設けて都市の中で孤独を楽しむ場を与える。

Phase-2: 都市に自分を表現する場を。



都市に根を下ろすように、新たな自分を表現する場が地上に現れる。そこには小さな活気が生まれ、コミュニティの芽が顔を出す。

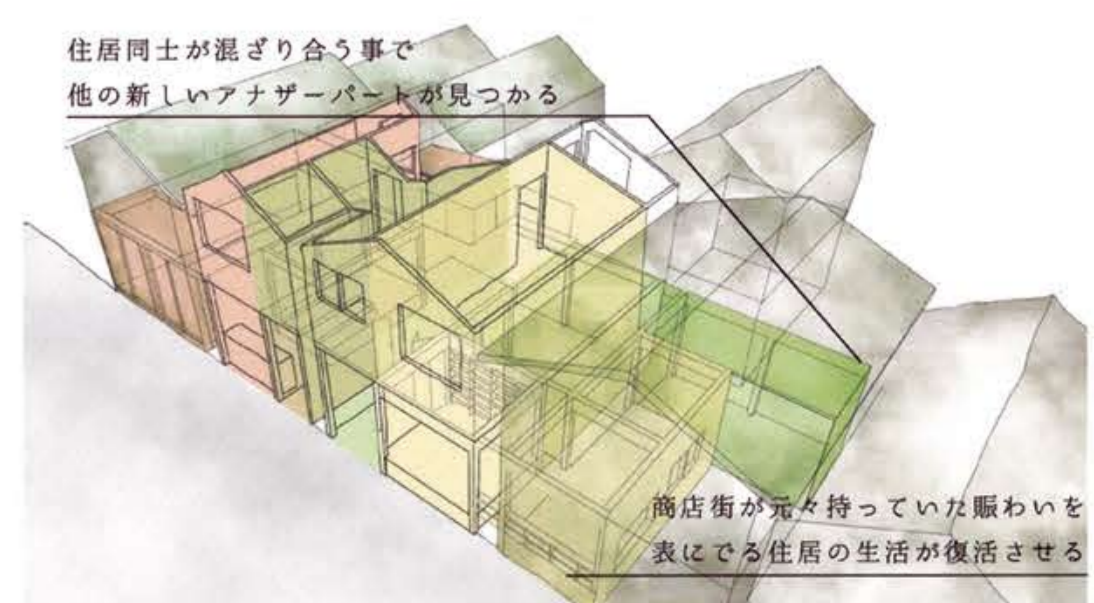


都市に暮らし次第に自分のアナザーパートを見つけ始める。空室の店舗に住まいを拡張し、都市に自分の趣味や生業の根を下ろし始める。

Phase-3: 都市に浸透する場を。



私の根は徐々に拡がり、様々な人々のアナザーパートと関わり合う。コミュニティは大きく拡がり、わたしは都市全体に浸透していく。



住居同士が温もり合う事で他の新しいアナザーパートが見つかる。商店街が元々持っていた賑わいを表にできる住居の生活が復活させる。趣味や生業の空間は次第に根をはるよう広がっていく、次第に広がるそれらの『根』は関係し合い相互に向上し合う関係を見つけ始める。